

令和2年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

文化芸術課

1 施設の概要等

施設名	広島県民文化センターふくやま		
所在地	福山市東桜町 1-21		
設置目的	県民の文化の振興に資する。		
施設・設備	ホール（530席）、練習室（2室）、文化交流室（1室）、楽屋（4室）		
指定管理者	5期目	H28.4.1～R3.3.31	広島県民文化センターふくやま共同企業体
	4期目	H25.4.1～H28.3.31	(株)不二ビルサービス
	3期目	H23.4.1～H25.3.31	県民文化センターふくやま共同事業体
	2期目	H20.4.1～H23.3.31	(財) 県民センター
	1期目	H17.4.1～H20.3.31	(財) 県民センター

2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	ホール利用率	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)	
	5期	R2		67.0%	35.3%	△27.1%	△31.7%
R1			66.0%	62.4%	△7.4%	△3.6%	(94.5%)
H30			65.0%	69.8%	9.7%	4.8%	(107.4%)
H29			64.0%	60.1%	12.9%	△3.9%	(93.9%)
H28			63.0%	47.2%	△7.7%	△15.8%	(74.9%)
4期平均	H25～H27		58.0%	53.3%	1.6%	△4.7%	(91.8%)
3期平均	H23～H24		58.2%	51.7%	0.5%	△6.5%	(88.8%)
2期平均	H20～H22		58.6%	51.2%	△5.5%	△7.4%	(87.4%)
1期平均	H17～H19		60.0%	56.7%	△0.7%	△3.3%	(94.5%)
	(導入前) H16		—	57.4%	—	—	—
増減理由	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、4月から5月中旬までの間休館したことに加え、イベント収容人数の制限や営業時間短縮により、目標を下回った。						

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象】
	利用者アンケート（受付にて用紙を配布・回収）	利用者（主催者）
	【主な意見】	【その対応状況】
	Wi-Fi などインターネット環境を整備してほしい。	利用者の利便性向上を図るため、最適な整備内容について、専門業者を含めて調査・検討している。

4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次業務報告書
	日報	—	
現地調査及び管理運営会議 (随時)	【特記事項等】 新型コロナウイルス感染症対策について 【指定管理者の意見】 アクリル板の設置、ホール客席の消毒、手指消毒液、検温器を設置するなど新型コロナウイルス感染症対策に努めた。 【県の対応】 新型コロナウイルス感染症対策に要した費用を負担するとともに、開館に向けたガイドラインを策定し、適切な施設運営を指導した。		

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	県委託料 (決算額)	5期	R2	65,091		9,159	料金 収入 (決算額)	5期	R2
R1			55,932	68	R1	30,664			△2,169
H30			55,864	0	H30	32,833			1,422
H29			55,864	△136	H29	31,411			2,450
H28			56,000	△1,265	H28	28,961			△980
4期平均		H25～H27	57,265	859	4期平均	H25～H27		29,941	2,014
3期平均		H23～H24	56,406	△815	3期平均	H23～H24		27,927	△994
2期平均		H20～H22	57,221	△4,774	2期平均	H20～H22		28,921	△266
1期平均		H17～H19	61,995	△14,777	1期平均	H17～H19		29,187	△2,046
		(導入前) H16	76,772	—		(導入前) H16		31,233	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R2 決算額	R1 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	65,091	55,932	9,159	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う県からの委託料増等 ・R1年度分(R2.3)：1,914千円 ・R2年度分(R2.4～R3.3)：7,177千円
		料金収入(※1)	14,624	30,664	△16,040	新型コロナウイルス感染症の影響による施設利用の減少による減
		その他収入	3,031	3,966	△935	
		計(A)	82,746	90,562	△7,816	
	支出	人件費	17,419	17,437	△18	
		光熱水費	8,211	11,855	△3,644	新型コロナウイルス感染症の影響による施設利用の減少による減
		設備等保守点検費	1,966	1,925	41	
		清掃・警備費等	40,837	40,984	△147	
		施設維持修繕費	4,325	7,008	△2,683	減収に伴う修繕内容及び計画見直しによる減
		事務局費	3,209	3,078	131	
その他		3,750	3,725	25		
計(B)	79,717	86,012	△6,295			
収支①(A-B)		3,029	4,550	△1,521		
調整額(C)(※3)		△1,914	1,914	△3,828		
調整後収支②(A-B+C)		1,115	6,464	△5,349		
自主事業 (※2)	収入(D)	1,355	1,647	△292		
	支出(E)	4,385	5,635	△1,250		
	収支③(D-E)	△3,030	△3,988	958		
合計収支(②+③)		△1,915	2,476	△4,931		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を發揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

※3 調整額：令和2年度に措置した、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う指定管理委託料の増額分のうち、令和元年度分(令和2年3月分)について、令和元年度の収支に含めて調整した額

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	指定管理者構成企業の特性を活かし、引き続き音楽活動を中心とした事業を展開した。	感染症対策を実施しつつ、指定管理者の強みを生かした自主事業を展開した。 新型コロナウイルス感染症の影響下でありながらも、自主事業等の取組により、利用率が前年度を上回る月（12月）もあり、利用率の回復に努めている。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	清掃回数を増加したほか送風機を設置して空気の滞留を防ぐなど、コロナ禍において利用者が安全かつ安心して使えるよう感染症対策に努めた。	利用者の安全の確保のため、感染症対策を適切に実施している。
	○業務の実施による、施設の利用促進		
	○施設の維持管理	収入減を踏まえ、県と連絡を密にしながら修繕計画を見直しつつ、維持管理に努めた。	施設の現状等について情報共有を行いつつ、適切な維持管理を実施している。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	コロナ禍において、職員の健康管理に努め、窓口業務についてはパネルや消毒液の設置などの対策を行った。	通常業務及び自主事業の実施において、感染対策の徹底に努めている。
	○効率的な業務運営		
	○収支の適正	新型コロナウイルス感染症により、利用料収入が大幅に落ち込んだが、事業内容の見直し等により収支の適正化に努めた。	県では新型コロナウイルス感染症対策費用等の支援を行った。収入が落ち込む一方で、修繕費等を見直し、収支の適正化に努めている。
総括		<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、利用申込が減少し、また、キャンセルも相次いだため利用料収入が大幅に落ち込んだ。それに伴いホールの稼働率も目標値を大きく下回った。</p> <p>県の指導やガイドラインに基づき感染症対策には、注意して対応した。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下にあり、感染対策を実施しつつも、利用者増加に努めており、一時的に前年と同程度まで回復させている場面もある。収支についても支出の見直しにより適正化に努めている。今後も利用者の回復に向けた取組が必要。</p>

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和3年度)	5月の緊急事態宣言等、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ、リモートやオンラインで施設が利用できるようシステム構築を目指す。	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による減収に対する財政支援については、当初予算において一定程度措置している。</p> <p>インターネット環境については、整備済みの他施設の状況や利用形態等を調査するなど事例を情報提供し、整備を促進する。</p>
中期的な対応	地域の各種団体と積極的に連携し、地域文化に係る公演を誘致することで、地域文化の活性化に寄与するとともに、施設の利用増加に努める。	県内各種団体と指定管理者の橋渡しを担う等、活動を支援する。